

2018年5月23日

【ドリームムービー通信：第12号】

「会社の動画制作知識⑧企画に必要な要素（5W1H）とは？」



5月下旬に入り、ちょっと暑いかなというより、
明らかに暑いなという気候になってきましたね。

外を歩いていると思わず上着を脱いでしまいます。

季節は夏に突入直前になりましたが、

本メルマガで現在展開しております

「会社の動画制作知識」も佳境に入ってきました！

今号は、

「企画に必要な要素（5W1H）」

について考えてみたいと思います。

映像制作だけではなく、さまざまなビジネスシーンで、

「5W1H」は活用されていますね。

ニュース記事では、

最も重要なことを先頭にもってくるのが鉄則と言われます。

この最初の段落は、リードと呼ばれ、

「5W1H」を多く含ませるべきとされています。

When / いつ

Where / どこで

Who / 誰が

What / 何を

Why / なぜ

How / どのように

したのか? するのか?

要するに「5W1H」は、

伝える側にとって、重要なことを、端的に伝えることができる、

受ける側にとって、重要なこと（関心ごと、興味がありそうなこと）を、

的確に把握できる、または、そのためのキャッチにできるノウハウ

ということができると思います。

さて、映像制作は、

企画 → 撮影 → 編集

という流れで行われることをこれまで述べてきました。

どれも重要ですが、まず「企画」がしっかりしていないと

次のパートも全体もよいものは作れません。

その「企画」に必要な「5W1H」とは？

①What / 何について：テーマ、題材

②Why / 何のために：映像が達成する効果、商品の認知、機能の解説

③Who / 誰に：ターゲット（主な視聴者）の属性

④Who / 誰が：制作者、スタッフ

⑤When / いつまでに：納期

⑥Where / どこで（場所）：ロケーションの場所、スタジオ

⑦How / どのように：形式…実写、アニメーション、CG等、

機材…撮影、録音、編集、素材制作

⑧How much / いくらで：費用（予算）

あれっ？

ちょっと項目が増えていますね。

基本的には「5W1H」ですが、

Whoを「誰に」と「誰が」に分け、How much「費用」を加えています。

映像制作の企画では、

「6W2H」にした方がわかりやすいかもしれません。

ビジネスマンの方々であれば、

上記の①～⑧は、通常の仕事で当たり前のように使われていることだと思いますので、

違和感はないと思います。

特に、①～③は知恵が必要で、最も大変なところですね。

映像制作においても全く同じで、

ご提案に際しては、⑤納期、⑧費用も外せません。

皆さまが、映像・動画制作を依頼されるときは、

上記の①～⑧を押さえて企画し、

それを基にオリエンテーションされるとよいのではないかと思います。

そのシートが、漏れのない要件定義書となって、

質の高いプレゼンテーションにつながり、

結果、完成品のレベルも高くなっていくのです。

今回は、「企画」にフォーカスしましたが、

「撮影」「編集」においても、「5W1H」を頭に置いて

進めていくことが重要です。

いかがでしたか？

次回は、

「予算書・スケジュール作成」について、

考えてみたいと思います。

最後に、本シリーズの概要と進捗状況です。

《メニュー概要》

- ビジネスで動画を活用するメリット → 済
- 映像・サービス種目 → 済
- 映像の活用事例（ライブ・SNS） → 済
- 映像制作の流れ → 済
- CGについて → 前回のテーマ
- 企画に必要な要素（5W1H） → ◇今回のテーマ
- 予算書・スケジュール作成 → 次回のテーマ
- 映像の形式と構成・シナリオの重要度

ご質問等があればお気軽にお問合せください。

最後までお読みいただきありがとうございました。